

高島町立小学校教育環境等検討委員会

第2回会議録

日 時：令和7年1月14日（火）午後6時30分～午後8時10分

場 所：高島町中央公民館 大会議室

出席者：検討委員会委員14名（1名欠席）、事務局4名

◇開会

◇委員長あいさつ

こんばんは。新たな年を迎えて今年もよろしく申し上げます。本日は2回目ということで2つ狙いがあるワークショップを設定しました。1つ目は前回話がありました高島町の教育と学校が直面している状況を整理したいということと、もう1つはそれをグループワークすることで委員間の関わりですとかお互いの考え方、自分が譲れないところはどこなのか段々はっきりしてくるといいなと思ひまして設定させていただきました。どういう雰囲気になるか分かりませんがやってみたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

◇説明

- ・高島町内小学校の取組みについて

事務局より説明。

- ・初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について

令和6年12月25日中央教育審議会諮問概要を江間委員長から説明。

◇協議

事務局：それでは協議に入ります。座長を委員長にお願いいたします。

委員長：それでは、15年後の2040年に子どもたちにこういうことを学んでおいてもらおうといいのではないかという内容や、こんな風に学んでもらったらいいという学び方、こういう活動ができる施設が必要だとか、2040年に二十歳を迎えるお子さんを考えた時に必要になることはどんなことか、学校をどんな場にしてもらおうと子どもも親も地域の人も幸せになるかな、というところで自由にお考えを討議していただければと思っています。妄想でも結構です。現状と照らし合わせるのはその後でいいと思ひていて、方向性が定まらないと何を強みとして生かして何を課題として考えていくかというのは難しいので、それぞれのご経験やお考えの中でご意見の交流をしていただきたいと思います。

<グループワーク>

「15年後に20歳を迎える子どもの将来像」をテーマに、3グループに分かれて話し合う。

委員長：たくさんご意見が出されたと思いますが、盛り上がったご意見を3つ選んで発表していただきますので、1分間でグループ内で3つ選んでください。

<グループで話し合う>

委員長：それでは発表をお願いします。

委員：Aグループでは、将来像としてコミュニケーションと自発的に行動することと食について意見が出ました。コミュニケーション能力を身に付けるために、地域との関わりを持ち、世代間を超えた交流が必要。自発的に物事を考え行動に移せるようになるために、グループ活動を通して自分の意見を持ったり自分で考える力を持ったりすることが必要。3つ目は健康に生活するために食を大切にすること。そのために小さい頃から農家とふれあい、食農教育をすることで食の大切さやありがたみを感じてほしい、という意見が出されました。

委員：Bグループでは、地域の課題を解決してもらえるような大人になってほしい、都市部に出ても臆することない大人になってほしい、諦めない、やりたいことが出来る大人になってほしい。もう一つは地元で様々なコミュニティに積極的に参加してリーダーシップを発揮し、興味のあることを生かして活躍できる、自分の考えを表現できる子ども。A Iに負けないで自分で考え工夫する力を持てる子ども。そのための環境としては、たくさんの同級生と刺激しあいながら生活できる環境、学校間の交流の中で小さいうちから関係性を作る環境があったらいい。今の親世代がコミュニティに参加できる環境も必要。学校内で地域の人が仕事したり、活躍している人が小学生とふれあえる機会があったらいい。自分の考えを表現できる環境としては、考える力を習得していく、表現する国語の力を身に付ける、非認知能力を育める教育、読書のための図書館の充実といった意見が出されました。

事務局員：Cグループでは、将来を見通して生きていけるこどもがいいのではないか、そのためにはキャリア教育や地域の方から話が聞ける機会があるといいのではないか。2つ目は、失敗に対してメンタルが弱いところがあるので、頑張れる子ども、失敗しても立ち向かうことが出来る子ども、そのために自信や達成感を感じさせることが必要。3つ目は元気であること、あいさつや返事が出来ることが大事。子ども同士の関わりや地域との関わりが足りないのかなという話になりました。

委員長：ありがとうございました。ここでまたグループで、発表を聞いたうえでやっぱりここが大事だよねとご自身が考えていることを一言ずつ話してみてください。

<グループ毎に意見交換>

委員長：では、尽きないと思いますがありがとうございました。色々お話しいただけたと思います。高畠が持つ強みがどういうところで、あれもこれもでは難しいと思いますので、大事にしていこうということに優先順位をつけていきながら、こういう環境が必要だと整理していった方がいいかなと思っています。学校を議論するということはお子さんのコミュニティもそうですが大人のコミュニティと言いますか、学校は昔から地域の中核にあって、地域の中での人との関わり合いをどのようにアレンジしていくのかという射程が必要になってきます。ただ固い繋がりというよりは、ゆるい繋がりの方がすごく大事だと個人的には思っています。あいさつして笑顔で

行き交うだけで十分だと思っていて、そういう環境にあると困ったときに助けてくださいと言えるので、ゆるい繋がりがないと助けてほしいと思ったときに中々声が出せなかったりとか、注意を向けられなかったりするのでは、そういう事が学校の中でも地域の中でも広がっていけばいいし、黙っていても出来ないのが生み出される場所とか空間をどう設計していくかということかなと思います。時間が伸びてしまいましたが以上で終わりにしたいと思います。お疲れさまでした。

◇その他

事務局：第1回の会議録について委員の皆さんから疑義等ございませんか。

(発言なし)

事務局：では次回の会議開催日ですが、委員長と調整後に連絡させていただきますのでご了承ください。

◇閉会

事務局：以上を持ちまして、第2回検討委員会を閉会いたします。ありがとうございました。